

夏の陽光に輝く善光寺の参道

旅行家 甲斐鐵太郎



【写真上】日本蕎麦屋の味は格別だ。御利益にあやかりたい



【写真上】霽の上に夏の青空が広がる善光寺

【写真右】お気軽に冷やし甘酒。甘酒ソフトクリームもある



善光寺の山門はコロナの鬱憤を晴らすように賑わう



【写真右】善光寺の向こうは善光寺平であり川中島の合戦場



門前町にはアジサイが鉢植えされていた

梅雨の晴れ間に長野市の善光寺に足を運んだ。いったその日は旧暦の5月に近かったが5月晴れに恵まれたのだ。前日までの梅雨空とは打って変わって世の中が輝いてみえた。空気が乾いて陽がよくとおる日になった。

コロナウイルス感染症の鬱憤をほらすごくく善光寺の参道には多くの人出があった。善光寺は長野県庁の近くにあり背後は山である。7月中旬の夏の日、人々は信州にいきたくなる。おりしもカラリと晴れた善光寺は木々の緑と空の青とに祝福されるように光り輝いた。

今週の主な記事

- ① 写真家・甲斐鐵太郎
- ② 天びん・はかり総特集(3)
- ③ JASIS2020・2020年11月に開催
- ④ 第70回計量士国家試験試験問題(2)
- ⑤ 意見募集・計量法関連委員会
- ⑥ 指定検定機関指定の申請の考え方(第5版)
- ⑦ 盛夏・計測計測関係企業を名指す
- ⑧ 社説・炉内線量の計測方法を開発
- ⑨ 10面
- ⑩ 11面
- ⑪ 12面

ていた。善光寺味噌を土産にし、特別なソフトクリームを楽しんでご本尊に手を合わせた。長野市にある善光寺のことだ。信州善光寺は一光三尊阿弥陀如来を本尊として、創建以来約1400年、阿弥陀如来との結縁の場として信仰されている。本尊の一光三尊阿弥陀如来は、インドから朝鮮半島百済国を経て、欽明天皇13年(552年)、仏教伝来のおりに百済から日本に渡った。仏像は仏教の受容を巡って廃仏派の物部氏によって難波の堀江に捨てられた。のちに信濃国司の従者として都に上った本田善光が信濃の国に移し長野県飯田市で祀られ、皇極天皇元年(642年)長野市に遷座した。皇極天皇3年(644年)には勅願により伽藍が造営され本田善光の名を取って「善光寺」と名付けられた。十数回の火災に遭うが如来を慕う心によって復興・護持されてきたのだという。

鎌倉時代には源頼朝や北条一族は厚く善光寺を信仰し諸堂の造営や田地が寄進された。善光寺信仰の広がりによって全国各地には新善光寺が建立された。現在の前立御本尊は鎌倉時代の作である。鎌倉時代には浄土真宗の宗祖の親鸞聖人、時宗の宗祖の一遍上人が善光寺に参拝した。戦国時代には善光寺平では武田信玄と上杉謙信による川中島の合戦があった。弘治元年(1555年)、武田信玄は本尊や寺僧に至る善光寺のすべてを組織ごと甲府に移した。武田家が織田・徳川連合軍に敗れると、本尊は織田家、徳川家によって祀られた。その後、豊臣秀吉によって京都の方広寺の本尊になる。秀吉の枕元で如来が信濃の地に戻りたいことを告げたというので慶長3年(1598年)、四十数年ぶりに善光寺に移った。

TANITA デジタルスケール TL-280

見やすいバックライト付 大型表示

¥33,000(税抜)

夏季特集

天びん・はかり総特集(3)

3299・3300号を合併号とし、8月9日付で発行します。

圧力計測機器の校正は長野計器グループへ

豊富な校正機器、充実した校正設備で様々なニーズにお応えします。

高いスキルを持ったスタッフが丁寧にJCSS校正作業をおこなっています。

長野計器とナガノ計装は、計量法に基づく圧力の校正事業者です。

JCSS 0080 **JCSS 0143**

長野計器株式会社 品質保証部 (JCSS0080) と株式会社ナガノ計装 計測器校正サービスセンター (JCSS0143) は、認定基準としてISO/IEC 17025 (JIS Q 17025) を用い、認定スキームをISO/IEC 17011 に従って運営されているJCSSの下で認定されています。JCSSを運営している認定機関 (IAJapan) は、アジア太平洋試験所認定協力機構 (APLAC) 及び国際試験所認定協力機構 (ILAC) の相互承認に署名しています。

長野計器 本社/〒143-0022 東京都大田区東馬込一丁目30番4号 TEL 03-3776-5311 FAX 03-3776-5320 <http://www.naganokeiki.co.jp/> お問い合わせはフリーコール/0120-10-8790

ナガノ計装 本社/東京営業所 〒143-0022 東京都大田区東馬込一丁目30番4号(長野計器ビル) TEL 03-5718-3281 FAX 03-5718-0238 <http://www.nagano-keiso.co.jp>

120年の伝統とイノベーションの計量装置総合システムメーカーです。

OMI 計量と制御の技術集団

OMI の製品<支えるのはイノベーション>

- 各種工業用プラント
- 各種農水産物選別プラント
- 液体・粉粒体充填装置
- 配合・調合計量システム 設計・製造
- トラックスケール計量・データ管理システム
- トレーサビリティ管理システム
- 各種穀物用計量機

多彩なニーズに 120年の技術開発とノウハウでご提案します。

計量システムの専門メーカー

伝統の技術・先進の技術・信頼の技術

近江度量衡株式会社

本社 〒525-0054 滋賀県草津市東矢倉 3-11-70
TEL.077-562-7111 FAX.077-562-7116

【国内拠点】 本社草津工場・東京・札幌・帯広・仙台・新潟・熊本・久留米
【海外拠点】 韓国 (仁川)・中国 (上海)・タイ (バンコク)

URL:<http://www.omiscale.co.jp>

日本計量新報

計測と科学
毎週日曜日発行
日本計量新報社

東京都江東区亀戸7丁目62-16
〒136-0071 TEL 03-5628-7070
FAX 03-5628-7071

<http://www.keiryu-keisoku.co.jp/>

振替口座 00140-5-12935
購読料年間 25,000円(消費税別)

定量計量専用機

Pack NAVI

速くハカル、
楽にツメル

Yamato

大和製衡株式会社 tel:078-918-6577
<http://www.yamato-scale.co.jp/>